

# 【R6】No.33 岡山県矢掛町（矢掛町イタリア野菜プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	徳田 恭子 氏 (A415)
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和4年度～令和6年度（月1～2回程度）
キーワード	#農業振興 #一次産品のブランド化 #野菜の産地化 #地域商業の活性化 #魅力発掘 #魅力発信 #伴走支援

## 【目的】

矢掛町は東京2020オリンピック・パラリンピック大会において、イタリアのホストタウンとして登録された。コロナ禍で、選手との直接の交流はできなかったが、事前キャンプを行う選手団に「おもてなし食材」として農産品等を提供し、選手・シェフから好評を得たことをきっかけに、イタリア野菜の産地化を目指し、農家の所得向上及び地域活性化を図る。

## 【内容】

- ・矢掛町内の「おもてなし食材」を見直し、ストーリーや魅力を再発見する。
- ・ワークショップ等を開催することで、主体と目標を明確にし、商品分析や指導・助言活動を行い、矢掛町一次産品（イタリア野菜）の価値向上及び販路拡大を図る。

## 【成果（見込み）】

- 1年目：JA野菜部会を中心としたイタリア野菜研究会を発足。栽培した野菜をイタリア料理店等にサンプルとして送付しブランド化に向けた意見等を収集した。町民向けの料理教室を実施。
- 2年目：産地ツアーを実施しシェフを呼んで、農地を巡回した。イタリア大使館を訪問し、矢掛町の取組の説明を行った。
- 3年目：県外のイベントに出展し、イタリア野菜のPRを実施。矢掛町にイタリアシェフを招致し、生産者、消費者、シェフが交流する「テーブルCROSS」イベントを実施。

⇒矢掛町産イタリア野菜ファン獲得へ



農地巡回



料理教室



テーブルCROSS



マルシェ